

平成 29 年 4 月 21 日

新潟県医師会長
渡 部 透 様

新潟大学医学部災害医療教育センター長
牛木 辰男

第 1 回新潟「人道と緊急支援の国際基準トレーニング【基礎編】」
(第 1 回新潟 Q&A (Quality & Accountability) 研修【基礎編】)
受講生募集案内について (依頼)

平素より、本センターにおける災害医療教育への格別の御高配を賜り御礼申し上げます。
さて、本センターでは、標記研修会の開催を下記のとおり予定しております。
大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、貴会管下の医療機関ならびに新潟県民医療推進協議会の
構成団体における災害医療関係者への周知について、御配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

1 開催日時

平成 29 年 6 月 24 日 (土) 10:00～17:00 (予定)

平成 29 年 6 月 25 日 (日) 9:00～16:00 (予定)

2 場 所

新潟医療人育成センター (新潟大学旭町キャンパス内)

3 研修内容

別紙『第 1 回新潟「人道と緊急支援の国際基準トレーニング【基礎編】」(第 1 回新潟 Q&A
(Quality & Accountability) 研修【基礎編】) 開催要領』をご参照ください。

【本件にかかる連絡先】

〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当 内山

TEL: 025-227-2033 FAX: 025-227-2167

E-mail: disaster@med.niigata-u.ac.jp

第1回新潟「人道と緊急支援の国際基準トレーニング【基礎編】」開催要項 (第1回新潟Q&A (Quality & Accountability) 研修【基礎編】)

新潟大学医学部災害医療教育センター

1. 目的

国内外の災害、復興、開発現場での活動の質をより高めるために、支援活動に関わる者が、人道・緊急支援の質とアカウンタビリティに関する国際基準の知識を身につけること。

2. 背景

近年、海外の大規模災害や紛争時の支援現場では、人道支援を行う際に参照すべき視点や対応方法がまとめられている「スフィア・スタンダード」のような国際基準が活用され、支援の質を高める努力がなされています。

しかし、東日本大震災の支援において、こうした国際基準に基づいた活動はほとんどなさず、劣悪な環境で避難生活を送る多くの被災者に災害関連健康被害が発生し、災害関連死につながりました。その反省を受けて、現地のニーズに合った支援、現地関係者の意見の反映、脆弱な立場にある人々をさらなる危害にさらさないために、関係者への説明責任、団体間の連携や協力、スタッフの安全確保など、支援のあり方が見直され、今後の災害支援等の現場で活かされる必要があります。わが国（内閣府（防災担当））でも、平成28年4月に発表した「避難所運営ガイドライン」の中で、「人道憲章の枠組みに基づき、生命を守るための主要な分野における最低限満たされるべき基準」がまとめられた文書として「スフィア・ハンドブック」を紹介しています。さらに同ガイドラインでは、「今後の我が国の「避難所の質の向上」を考えると、参考にすべき国際基準となります。」と記載しています。

(http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo_guideline.pdf)

こうした支援の質とアカウンタビリティの向上を推進するために、2015年7月に支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク(JQAN)が設立され、国際社会における人道支援の諸原則、基準類の普及、提言、人材育成、発信などが行なわれています。

3. 目標

1) 国内外の人道・開発支援、防災に関わる者が身につけておくべき以下の文書について、その理念と構成、使用法などを習得すること。

- ① スフィア・スタンダード
- ② 人道支援の質と説明責任に関する必須基準(CHS; Core Humanitarian Standard)

2) 参加者間のネットワークを形成すること。

4. 主催・共催・後援

- ・ 主催 新潟大学医学部災害医療教育センター
- ・ 共催 支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク(JQAN)、日本ファーストエイドソサエティ



- ・ 後援(案) 新潟県、新潟県医師会
- 5. 日時 2017年6月24日(土) 10:00-17:00
2017年6月25日(日) 9:00-16:00
(全日程の参加が必須です。)
- 6. 会場 新潟医療人育成センター(新潟大学旭町キャンパス内)
<http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/nmp/testsite/contents/access/>
- 7. 内容・プログラム(予定) 全2日間です。講義、グループディスカッション、ロールプレイなど

1日目(6月24日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Quality & Accountability (Q&A)とは ・ スフィア・プロジェクトとは ・ スフィア・ハンドブックの使い方
2日目(6月25日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人道支援の必須基準(CHS)とは ・ 経験の共有 ・ アクションプランの作成

- 8. 講師
 - 1) 岡野谷 純(おかのや じゅん) 特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ
 - 2) 五十嵐 豪(いがらし ほう) 特定非営利活動法人難民を助ける会(AAR Japan)
- 9. 参加対象者・人数
 - 1) 対象 医療関係者、行政関係者、救護関係者(消防、警察、海上保安庁、自衛隊など)、国内外で活動するNGOスタッフ、国内で支援活動をするNPOや団体に所属する方、災害時にボランティアスタッフとして活動する意向のある方など、人道・緊急支援に携わっている方、またはその予定がある方
 - 2) 人数 24名程度
- 10. 募集期間 2017年4月21日(金)9:00~2017年5月8日(月)17:00 (延長の可能性あります。)
以下のURLまたはQRコードからご登録ください。
<https://business.form-mailer.jp/fms/bee10be269383>
- 11. 採否通知 2017年5月10日(水)までにご本人宛メールアドレスに連絡します。
- 12. 参加費 5,000円(テキスト、資料代、郵送費、昼食代など)
- 13. テキスト 研修で使用する「国際基準ハンドブック・テキスト類」は当日配布します。
- 14. その他 受講採用者には、開催案内と一緒に事前学習をご案内します。



【本件に係る問い合わせ先】
 新潟大学医学部災害医療教育センター
 佐藤栄一(さとうえいいち)
 〒951-0810 新潟県新潟市中央区旭町通一番町 757
 電話 025-227-0827 / FAX 025-227-2036
 E-Mail alsato@med.niigata-u.ac.jp